

■ デマンド（予約）型タクシー・鉄道を 利用してみませんか

申問 ふるさと定住促進課（本庁舎内） ☎ 88 - 5360

デマンド（予約）型タクシー予約方法が変更

3月1日（金）からデマンド（予約）型乗合タクシーの予約方法などが一部変わります。

■変更内容 / 下記のとおり

- ・電話番号が（旧）0795-72-5500 から
（新）050-1808-7500に変更。
- ・スマートフォンやパソコンからの予約が可能。
- ・登録した電話番号に自動音声で予約確認の通知が届きます。詳しくは、市のホームページまたは3月発行の公共交通ガイド「てくてくたんば」を確認ください。



JR 黒井駅「みどりの券売機」を導入

2月20日（火）から、JR 黒井駅に「みどりの券売機」が導入されました。乗車券、特急券、定期券の購入、予約した切符の受け取りやクレジットカードによる切符の購入ができます。

- 利用時間 / 午前5時30分～午後11時
- ※券売機導入に伴い、窓口業務は3月15日（金）に終了。

駅周辺の駐車利用料金を助成

市内の駅から、定期券を使用して通勤・通学する人が、駅周辺の月極駐車場を利用する場合、駐車場利用料金の全額または一部を助成します。

- 助成金額 / 月額 3,000 円※上限
- 対象者 / 市内の駅周辺の月極駐車場を契約し、鉄道の定期乗車券で、市内の駅から通勤・通学をしている
- 対象期間 / 令和5年10月～令和6年3月
- 申請期間 / 3月1日（金）～29日（金）
- 申請方法 / 次の①～③をふるさと定住促進課または各支所に提出ください。

- ①申請書②駐車場を利用した期間の定期券の写し③駐車場利用料金の領収書の写し

JR 定期券 WEB 申込「マイ・テキキ」開始

3月18日（月）から、通勤・通学定期券の新規購入（継続利用は除く）のWEB申込受付を開始します。詳しくはJRおでかけネットを確認ください。



丹波市は少子化や若年人口の流出超過により、人口減少が続いています。人口減少の抑制を図るために市政運営の基本的な考え方として、①帰ってこいよ・帰ってきたいと声かけ合える丹波市②市民が暮らしやすい丹波市③子どもを産み育てる喜びあふれる丹波市④子育て世代、現役世代が魅力的に感じる丹波市の4点を掲げて、若い人たちが魅力的に感じるまちづくりを推進していることを説明しました。

特別交付税は、市独自の特別な取組や災害などの特別の財政需要に対し、国から地方に交付されるものです。
2月1日に総務省を訪問し、自治財政局長等に対して丹波市の主な特殊財政事情を説明し、特別交付税に関する要望をしました。令和5年度の要望額は15億7千7百万円です。

特別交付税について総務省自治財政局長と面談し要望しました

市長・林時彦
時を駆ける



丹波市長 林 時彦

主な取組として、出産された家庭を支援する「ハッピーバース手当」や市内企業の安定的な雇用と地域経済活動の維持継続のための「ふるさと就職奨励金」等があること、さらには、移住促進の取り組みとして「たんば」移住「テラス」を運営し、移住に関する住まいや仕事の相談、暮らし情報の発信により、令和4年度には移住者数194人の実績を挙げていることなどを説明しました。
特に興味を示されていたのは、新規就農をめざして栽培技術などを学んだ卒業生の半数以上が市内で農業に従事されている「農の学校の運営」と約4万人まで減少していた路線バスの乗客数がV字回復し、令和5年は約15万人になるうとしている「公共交通対策事業」です。市内農家と連携して農業を学べることで、定住につながる仕組みやバス路線を再編し、市民が利用しやすい公共交通に取り組んでいることに注目されていました。